

# 玉鬘神社 創祀 奉納能

日時 平成30年11月13日(火)

13時～ 奉納

※雨天の場合は、与喜天満宮で執り行います。

会場 奈良県桜井市 玉鬘神社境内

(住所 奈良県桜井市初瀬77番地)

倍艦料 無料



たまかすら  
玉葛観世音菩薩坐像

奈良県桜井市  
無明物成金蔵

能 翁

翁 宝生和英

笛 赤井要佑

小鼓 大倉源次郎

後見 山内崇生

千歳 辰巳和磨

地謡 辰巳満次郎

澤田宏司

辰巳孝弥

半能 玉葛

たまかすら

シテ・玉葛ノ霊 辰巳満次郎

脇旅僧 福王知登

問狂言 茂山逸平

笛 赤井要佑

小鼓 大倉源次郎

大鼓 河村大

後見 宝生和英

地謡 辰巳和磨

山内崇生

澤田宏司

辰巳孝弥

辰巳大二郎



主催：玉鬘神社創祀の会

お問い合わせ先：玉鬘神社創祀の会 Tel.0744-55-2300 Fax.0744-55-1709



### 宝生和英

宝生流二十世宗家演能会「和の会」主宰  
宝生会常務理事 石川県能楽文化協会名譽顧問 裏千家淡交会 東京第一東支部支部顧問  
昭和63年 室町時代より続く能楽の名門、宝生家に生まれる。平成20年 東京藝術大学音楽学部邦楽科を卒業後、同年4月に宗家を継承。昨年、宝生流発祥地の桜井外山で50年ぶりに里帰り公演をする。



### 辰巳満次郎

シテ方宝生流能楽師。昭和34年神戸生まれ。東京都目黒区在住。流儀における関西を統括する。興福寺新御能に毎年参勤。同保存会理事。公益社団法人宝生会理事。公益財団法人友愛会副理事長。実家の香里能楽堂で定期公演を主宰する。文化庁文化交流使として活動。重要無形文化財総合指定保持。



### 大倉源次郎

昭和32年大阪生  
十六世大倉流小鼓方宗家  
重要無形文化財個人指定(人間国宝)  
公益社団法人能楽協会理事  
大和申楽とは深い繋がりを持ち、談山能の復活や、大神神社参勤、大淀町の能楽プロジェクト、昨年の桜井能の実現など、源流宗良の能に貢献する。今回の奉祝能も監修する。

### 能翁

「能にして能にあらず」と言われ舞台上で「翁面」を掛け神となった大夫は「天下泰平、国土安穩、五穀豊穡」を祈念しこの地に集う人々の平穏を予祝します。外山の地に起源を有す、宝生流二十世、宝生和英宗家が、昨年の宝生流発祥の碑が在る桜井市宗像神社奉納に引き続き、翁舞を奉納される誠に目出度い奉祝として記録されることでしょうか。

たまかずら

### 半能 玉葛

《今回の奉納の為に特別な構成をいたしました。》

旅の僧が、初瀬の長谷観音へと参詣に出かけます。旅僧は、この地所の里人と出会い、この地が源氏物語で夕顔の娘の玉葛が、母の夕顔の侍女である右近に劇的な出会いを果たす舞台になった場所であることを知ります。

旅僧が哀れに思っ、読経していると、玉葛の亡霊が現れ、乱れた想いに狂い舞い、懺悔して妄執を晴らし成仏します。

玉葛【前場解説】旅僧が初瀬川のあたりまで来ると、一人の女性に出会い僧を二本の杉の木へと案内し、玉葛内侍が筑紫から都へ逃げ上り、ここへ来たところ、母夕顔の侍女右近に巡り会ったことなどを語り、自分はその玉葛の亡霊であるとのめかして消え失せます。(今回はこの前半の部分を省略します)

### 能楽とは

能楽は、古代日本に渡来した様々な芸能を起源とし、仮面劇、歌舞劇として洗練を遂げ、ユネスコの世界無形文化遺産にも登録された日本独自の伝統文化です。この大和の地で誕生した能楽は、大和四座と呼ばれる結崎観世座、外山宝生座、円満井金春座、坂戸金剛座と、江戸時代に誕生した喜多流とで四座一流という呼び方をします。能楽は江戸時代に徳川幕府の式楽として北は青森、山形から南は八重山地方まで全国に広がり、日本人の心を繋げ育んで来ました。

### 玉鬘神社へは

#### 電車

大阪方面からは、近鉄上本町駅発の急行をご利用ください。京都方面からは、近鉄京都駅から急行に乗り、八木駅乗り換えになります。  
近鉄大阪線・長谷寺駅下車。徒歩約20分。

#### お車

大阪方面から西名阪道・郡山IC(神社まで約30分)  
和歌山・大阪方面から南阪奈道路・葛城IC(神社まで約30分)  
(神社まで約30分)

名古屋方面から名阪国道・針IC(神社まで約25分)

